

1. 件名：降下火山灰シミュレーションコード Tephra2 のコードの誤りによる  
四国電力伊方発電所3号機の火山影響評価への影響について

2. 日時：平成28年11月25日（金）13時30分～14時00分

3. 場所：原子力規制庁7階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：大浅田安全規制調整官、反町安全審査官、竹内安全審査官、  
中村安全審査官、佐藤（秀）安全審査官、永井安全審査官、  
岩崎係員、西来技術研究調査官

四国電力 土木建築部地盤耐震グループリーダー 他3名

5. 要旨

○四国電力株式会社から、平成27年7月15日付けで設置変更許可を行った伊方原子力発電所3号機に関して、火山影響評価における火山灰シミュレーションに用いた Tephra2 について、日本火山学会 2016 年秋季大会において、その解析コードに一部バグがあるとの発表があったことから、Tephra2 の解析コードを確認したところ、バグがあることを確認し、このバグを修正して再計算を行った結果(14cm)、従前の結果(14cm)に変更は無く、降下火砕物の層厚を 15cm とした既許可に影響がないことを確認したとの説明があった。

○これを受けて、原子力規制庁は、四国電力が Tephra2 の解析コードのバグを修正して実施した火山灰シミュレーション結果、それに伴い敷地における降下火砕物の層厚の評価結果に影響がなく、設置変更許可申請の必要がないことを確認した。

6. 提出資料

・伊方発電所 火山影響評価について（Tephra2 のバグ修正に関する報告）